A-1グランプリ2011 地方予選大会スタート!

震災後の日本に農業で夢を描く者、集う















～農業を元気に！地域を元気に！ニッポンを元気に！～ A-1グランプリ2011（主催：農業技術通信社）地方大会がスタートした。農業を通じて、自らの夢を事業プランとして発表し、それを実現する力を試すことができるステージだ。4月15日の中国・四国・九州エリア大会を皮きりに、21日の近畿・北陸エリア大会で各地方チャンピオンが決まり、7月1日のグランプリの出場権を手にした。２大会の受賞者コメントを一挙紹介する。

中国・四国・九州エリア大会
2011年4月15日（金）





最優秀賞
瀬音禎司
イスミ商事㈱
（熊本県人吉市）
「地元中小農家と
食品スーパーの可能性」



優秀賞
田中泰次郎
㈱阿蘇たいちゃん農場
（熊本県阿蘇市）
「阿蘇の農業改革」



奨励賞
湯ノ口貴之
㈱アグリスタイル
（鹿児島県指宿市）
「地域資源を生かした
農業と観光の融合」



横川竟
㈱きわむ元気塾 社長
審査委員長の講評

今、世の中で何が求められているか。３つの受賞プランはいずれもそれに対応したすばらしい出来だった。優秀賞の田中泰次郎氏はプレゼンテーションの仕方がすぐれていた。一農場の事業モデルとしても最高だった。ただ、地域への広がりという面であと一歩のところで頂点に届かなかった。最優秀賞の瀬音禎司氏はGAPを通じた地域農家の活性化が評価され、今後の波及効果も期待できるプランだ。あえて苦言を申せば、決勝大会に向けて、発表の仕方をもう少し派手にする必要があるだろう。具体的な数字で訴えかけてほしい。奨励賞の湯ノ口貴之氏の理念は、今後、食育が全国に広がっていくことを実感させてくれた。

地域に根ざした事業プランが評価

■奨励賞・湯ノ口貴之氏
「農業を始めた一番の目標は農業を子どもたちの憧れの職業にすること。A-1参加は子どもたちに伝えたいことは何か改めて考えるきっかけになった。今回のプランはその手段の一つに過ぎない。近い将来、多くの職業から農業が選ばれる日がくるよう目指してやっていきたい」

■優秀賞・田中泰次郎氏
「受賞できたのはひとえに私のキャラクターを育んでくれた阿蘇の大自然のおかげ（笑）。審査員の皆さんからたくさんの助言をいただいた。そのアイデアを持ち帰って、農協でローンを申込みたい思います（笑）。これからも〝楽しく、愉快に、面白く〟をモットーに農業をやっていく」

■最優秀賞・瀬音禎司氏
「受賞するとは想像すらしていなかった。本当に感激した。地方は疲弊している。我々のような商売人と地元農家が協力をして、一緒にがんばっていくしかない。その結果、地元が元気になっていく。地域が一緒に生き残っていく道を今回のプランを推進していきたい」

近畿・北陸エリア大会
2011年4月21日（木）





最優秀賞
松本靖治

京都おぶぶ茶苑
（京都府和束町）
「茶畑オーナー制度」



優秀賞
清水三雄

㈱京都府天田郡みわ・ダッシュ村
（京都府福知山市）
「耕作放棄農地を復元し、過疎地を活性化する『みわ・ダッシュ村活動』」



奨励賞
榊原伸泰

榊原農園
（愛知県豊橋市）
「野菜からメディカルフーズへの挑戦」



緒方知行

㈱オフィス2020新社 主幹
審査委員長の講評

農業とは単に胃袋を満たす産業ではなく、健康をどう創造するかを支える産業なのだ。このことを奨励賞・榊原伸泰氏は教えてくれた。「自分の残された人生、全部賭けるんだ」で始まった優秀賞・清水三雄氏（70歳）の発表はこれでグッときた。強い思いや使命感が人の心を動かすことを示してくれた。最優秀賞の松本靖治氏のプレゼンテーションは最も優れていた。内容はさらに上回っていた。若い人が農業に対して前向きな情熱を持ち、論理性と構想力を備え持ち、実行力もある。大会を総括すると、新しいアイディアとネットワークをつなげていけば、必ず日本の農業は元気になっていくんだということを確信した。

思い、使命感、志が人を動かす

■奨励賞・榊原伸泰氏

「若いころ、お客さんに『真剣に野菜を作ったことがあるのか。儲かるために作っているんだろう』と、すごい勢いで怒られたことがある。それから食べる人の視点から農業をするようになった。農家が健康と食文化まで考えて取り組めば、日本農業は世界一の農業大国になれる。そのためには作物が本来もっている機能を最大限に引き出すのが作り手の使命だ」

■優秀賞・清水三雄氏

「私の使命は何としても『みわ・ダッシュ村活動』を成功させること。日本中に同じ形のビジネス展開をし、耕作放棄農地を減らさなければいけない。全国民に、そういう気持ちになっていただけるようこの活動を命ある限り続けていく」

■最優秀賞・松本泰治氏

「当社の『茶畑オーナー制度』は一日50円玉一枚で、全国はもとより世界116カ国から茶畑オーナーになれる仕組みである。5年以内に5000人の茶畑オーナーを目指し、日本の農業振興を農村から名実ともに世界を巻き込んで実現していきたい」

決勝大会まであと45日！
ギャラリー参加申し込みはお早めに

北海道エリア大会

日時：2011年6月3日（金）13時～
会場：ＴＫＰ札幌カンファレンスセンター きょうさいサロン
住所：北海道札幌市中央区北４西１ 共済ビル7F・8F
電話：011-252-3165

東北エリア大会

日時：2011年6月16日（木）13時～
会場：TKP仙台カンファレンスセンター
住所：宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3 ソララガーデン･オフィス
電話：022-217-7126

決勝大会

※前夜祭は中止させていただきました

日時：2011年7月1日（金）13時～
会場：ＴＫＰ大手町カンファレンスセンター
住所：東京都千代田区大手町1-1-2 リソナマルハビル18階
電話：03-5218-0090

ギャラリー料金について

■『農業経営者』『Agrizm』定期購読者
■「農業ビジネス」ゴールド会員 …… 2,000円
■ 一般 …… 3,000円　■ 学生 …… 1,000円

※お連れ様は1名につき2,000円いただきます（ただし学生の場合は1,000円）。なお、各エリア大会後に行なわれます懇親会費は一律3,000円いただきます。

問い合わせ先

A-1グランプリ2011事務局

受付時間	平日10:00～18:00（土･日･祝日除く）
TEL	03-5348-6961 ／ 03-5348-6963
FAX	03-5348-6962
E-mail	A-1@farm-biz.co.jp
URL	http://www.a1-biz.jp/

A-1グランプリ2011 協賛企業の声

この国の農業者は勿論、消費者も、農と食に関し、一大意識改革を迫られていると考えております。特に農と食の不祥事の続発によって、農業は生命維持産業であると認識され、「TPP」刺激も含めて農業者に何らかの自信と目標と与えるきっかけになったことは、嬉しいことです。農業者の生活が安心でかつ消費者の安全を保つために具体的に何をどうするかを考えて実行する時期に来ていると思います。農業者は高収入・高収量のみを追わず価値のある安全な物だけを作ることに徹する姿勢が必要です。経費は増しますが商品に付加価値が付き、高収入になります。Ａ－１グランプリは、その成果を発表する絶好の場であり、この場を利用し農業関係者の誰もがビジネスチャンスにつなげていってほしいと思います。

株式会社微量元素研究所
代表取締役社長
山形　健次郎

東京都文京区千駄木3-33-6
TEL　0120-339-893
http://www.biryogenso.jp/

